

(1) テーマ 「 長期記憶は超いい記憶 」

(2) ねらい

短期記憶と長期記憶の特徴と関連を知り、各々を活用できるようにする。

(3) 展開の視点

実験を通じて短期記憶とチャンキング、長期記憶の特徴を実感する。その上で、各々の違いを知り、日々の生活・学習に活かすことができるようにする。

なお、生徒の理解を深めるためにパワーポイントを使用する。

(4) 展開

時間	学習活動	・ 支援
導入 (3)	実験①。 数字の羅列を覚える	20 秒間数字の羅列を提示し、記憶させる。 「8 1 0 0 8 2 7 2」 答えあわせを行う。 覚えていた生徒がいれば、どのように記憶したのか発表。 いなければ、どうすれば覚えやすいのかを教える。
展開 (10)	チャンキングの説明 実験② 短期記憶と長期記憶についての説明	チャンク、マジカルナンバー‘7’について、実験の内容、例をふまえながら説明する。 もう1度数字記憶の実験を行う。 ＜20 秒間数字の羅列「3 9 2 1 0 0 1 4 0 9 1 0 2 (サクッと覚える記憶術)」を提示し、記憶させる。答え合わせ。 チャンキングによる覚え方を示す。短期記憶、忘却曲線の説明。もう一度数字の羅列を再生させる。＞ チャンキングの理解を図ることと共に、短期記憶と長期記憶についての説明も同時に行う。
まとめ (8)	長期記憶を利用した勉強法の紹介 メッセージ	テスト勉強の効果的なやり方を紹介する。 「一夜漬けの勉強ではすぐ忘れてしまい、テスト中に思い出せないことがありますよ。テストで鍵を握るのは長期記憶の量である。」